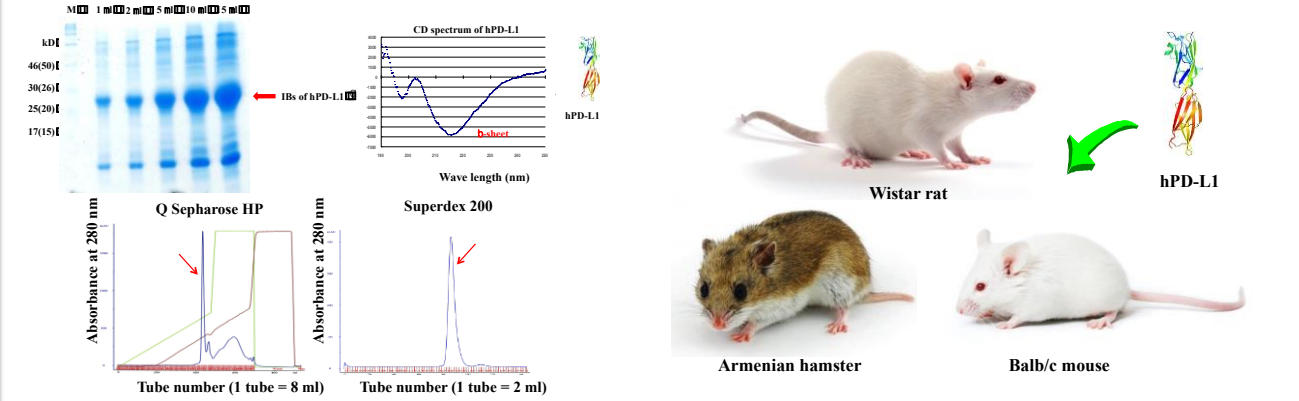


組換え体およびモノクローナル抗体作製 分子間相互作用検出系開発

[技術の概要]

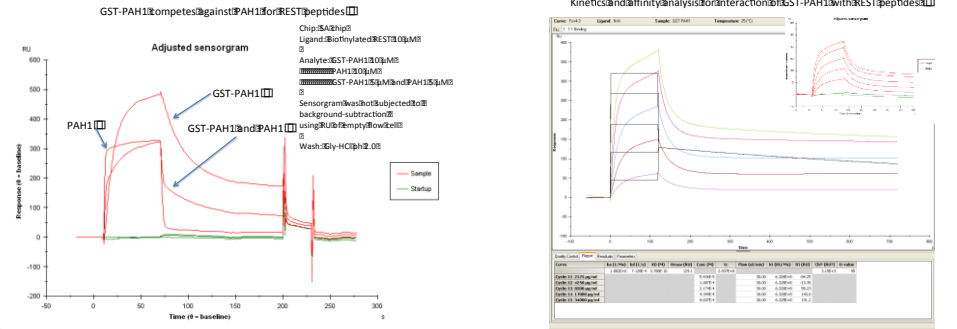
1) 組換え体およびモノクローナル抗体作製

各種宿主を用いた組換え体の作製および精製 精製 マウス、ラットおよびヒムスタスを用いたMab作成



2) 分子間相互作用検出系開発

ビアコアT200を用いて、分子間相互作用検出系を樹立し、速度論を用いて親和性を定量



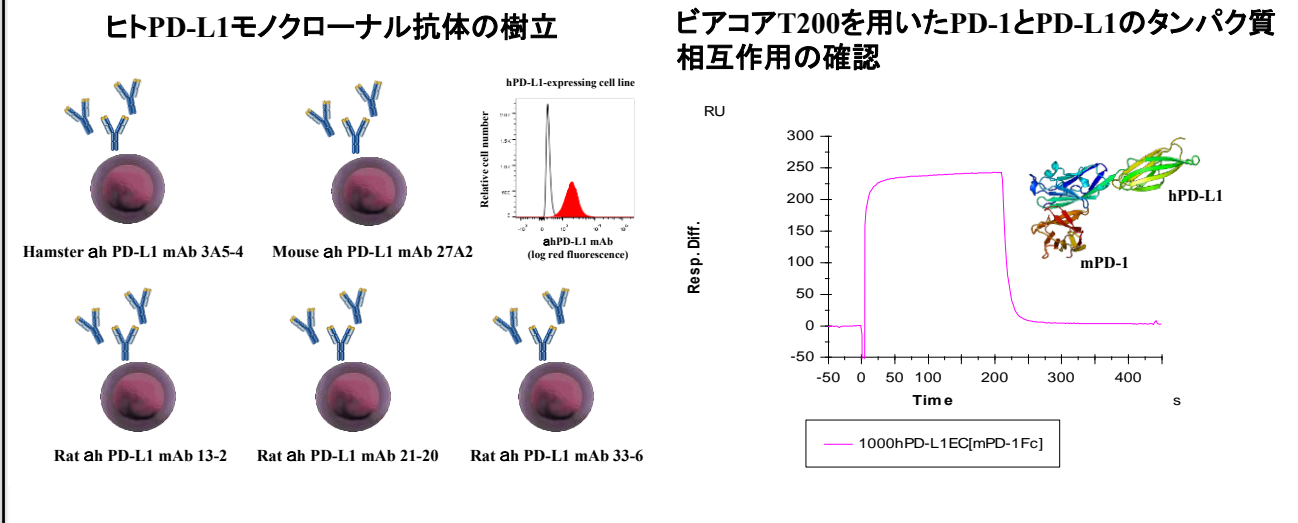
使用機器

AKTA explorer 10S (GE Healthcare) (左写真)
Biacore T200 (GE Healthcare) (右写真)



[技術の利用例]

ビアコアT200を用いて作製した組換え体PD-L1のPD-1への結合能を検証し、組換え体を抗原とし、ヒトPD-L1特異的Mabの樹立に成功した。



連絡先

[所属] 長崎大学創薬研究教育センター
[名前] 米澤 朋、田中義正、植田弘師
[E-mail] yonet@nagasaki-u.ac.jp
ystanaka@nagasaki-u.ac.jp
ueda@nagasaki-u.ac.jp